

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	らふてるキッズ		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日 ~ 2024年12月30日		
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	20	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2024年12月1日 ~ 2024年12月30日		
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月22日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	科学的根拠に基づいた効果的な療育を、らふてるキッズ来所時だけでなく、家庭でも実践できるように、個別支援とペアレントレーニングを中心に行なっていることです。	個別支援では療育法のマニュアルを保護者と共有し、家庭療育が可能になるように丁寧に説明を行うとともに、職員は保護者に付き添いながら、実際にお子さんにやっていただくようにしています。また、質問についても随時受け付け、ご理解いただけるように丁寧にお答えしております。	家庭療育の必要性をあまりご理解されていない保護者には、重要性を理解していただけるように、家族支援の際に説明を行っています。
2	支援プログラム、支援マニュアル（療育法のマニュアル）が完備されていることです。	支援プログラムと、支援マニュアルに基づいた療育法を、職員がしっかりと理解し実践できるように研修を行なっています。	支援プログラム、支援マニュアルを、よりわかりやすいものにしていく取り組みを行なっています。
3	職員一人一人が、支援方法をしっかりと理解していることと、高いモラルと深い愛情をもってお子さんに接していることです。また、施設内では、常に動画撮影を行い、支援の質を確認できるようにしています。	職員の支援スキルのアップ・モラルアップのための研修を行なうとともに、職員間での思いやりのある温かい雰囲気づくりに取り組んでいます。	研修内容の充実のため、情報共有アプリを導入するとともに、研修ビデオを作成しています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一部の家庭療育ができないご家庭の場合、顕著な療育効果を出すことができないことです。	保護者に家庭療育の重要性を理解していただけるようにするこれが課題です。	多くの情報発信が必要と考えます。
2	営業時間が短い（6時間）であることです。	昨今的人件費を含めた経費の高騰と事務作業の煩雑化により、いただく報酬と職員人員とのバランスを取ることが難しくなっております。	マンツーマン以上の質の高い丁寧な療育を行なっているため、療育の質を確保しつつ営業時間を延長するには、無償ボランティアの募集など行ない庶務作業へ人員確保が必要と考えています。
3	重要な資格を持つものが少ないことを原因として、重要な資格を持った一部の職員が、職位・立場を利用して会社の指示を無視した行動をとり事業所内の秩序を乱してしまったことです。	重要な資格を分散させて、一部の職員が強い権限を持たないようにすることです。	事業所のサービス提供継続に関わる重要な問題です。制度を原因とする問題のため対応が困難ですが、質の高い支援の継続のために、できる限りの対策を行なっています。